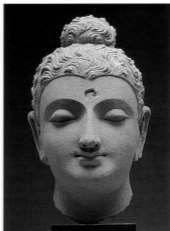


まつどミュージアム

No. 5 1997年(平成9年)3月



■仏像と菩薩像■

仏陀は「覺りを開いた者」を意味するサンスクリット語“Buddha”（ブツダ）を中国語に音訳したものです。その仏陀の像が仏像です。同様に菩薩は「覺りを求めて修行する者」を意味する“Bodhisattva”（ボーディサトゥヴァ）の音訳、菩提薩埵を縮めたものです。ガンダーラの彫刻に登場する仏教関係の像は仏像と菩薩像に限られます。

菩薩像は耳飾り、首飾り、腕輪などの装飾品を身に付けているのに対し、仏像は衣を身に付けているだけの姿です。仏陀の耳朵が長く伸び孔が開いているのは、菩薩時代に耳飾りを装着していた跡と考えられます。

（特別展「シルクロードとガンダーラ」図録より）

菩薩半跏像（左：1～4世紀）と仏頭（右：4～5世紀）〔パキスタン出土〕

シルクロードとガンダーラ

東と西の文化が出会い、そこに仏像が生まれた

開館5周年を記念して、いままでほとんど一般公開されなかったことのない当博物館所蔵のシルクロード関係資料コレクションを展示公開するため本特別展が開催されています。

本展示ではパキスタンのガンダーラ地方の出土品を中心とする当コレクションに加えて国内に所蔵されている関連資料も借用展示して、シルクロードを通じた東西文化交流の一面を明らかにするとともに、日本文化への影響の一端も紹介します。

■会期：平成9年3月20日(木)～5月11日(日)

■会場：松戸市立博物館企画展示室

■展示構成

①導入…かつてガンダーラと呼ばれたパキスタン西北部の地方の現在の人々の生活と仏教遺跡を写真で紹介しています。



パキスタン・シャマルガリー遺跡

②シルクロード—東西文化を結んだ道…網の目のようにはりめぐらされたシルクロードを行き交った文物の例として、絹・ガラス器・仏像をとりあげて交易の一端を紹介しています。

③仏像誕生…“ひとがた”や神像、舍利容器などを通して仏像誕生の契機を考えます。



地母神像

(前2000年紀、アフガニスタン)



土 罎

(前1000年紀、貝の花貝類)

④ガンダーラの彫刻…仏教寺院をおごそかに飾るためにつくられた仏像・菩薩像・仏伝図レリーフ等を紹介しています。



仏伝図レリーフ「梵天勧請」(2～5世紀、パキスタン)



仏伝図レリーフ「涅槃・仏塔礼拝」(2～5世紀、パキスタン)

⑤日本列島に伝わった仏塔・仏像…シルクロードを通じて日本にもたらされた仏教文化の造形の例を紹介しています。

■記念連続講演会

①「インド世界と“仏教文化”」

講師：小西正捷氏(立教大学教授)

4月13日(日)午後1時30分～3時

②「ガンダーラの仏伝図」

講師：小泉恵英氏(東京国立博物館 インド・南東アジア室)

4月20日(日)午後1時30分～3時

③「仏教文化の東伝—中国そして日本へ」

講師：松本伸之氏(東京国立博物館 中国美術室長)

5月3日(祝)午後1時30分～3時

④「もう一つのシルクロード—草原の道」

講師：林俊雄氏(創価大学教授)

5月5日(祝)午後1時30分～3時

■展示解説会

講師：古里節夫(本特別展担当学芸員)

3月30日(日)午後3時～4時

4月27日(日)午後3時～4時



平成8年度の活動より

★「古代米を作る」

5月～10月

「21世紀の森と広場」にある田んぼは、昨年の秋、3色の稲穂で輝きました。体験教室「古代米を作る」に参加した21人の子供たちが大事に育ててきた赤米・黒米・白米の稲穂です。

子供たちは、春の田植え、夏の草取り、秋のカカシ作り、稲刈り、脱穀と、学校がお休みの日曜日、博物館に来て一連の農作業に挑戦してきました。田んぼの泥の中に入るのが最初はおっかなびっくりだったり、気持ち悪い虫を見つけてしまったり、腰が痛くなったり、せっかく作ったお米をカモに食べられてしまったり、…いろいろなことがありました。

でも、古代米に近いといわれる赤米の話やカカシの話を学芸員から聞きました。足踏み脱穀機や唐箕を実際に使ってみて「へー、なるほど」と思いました。知らないお友達とも仲良くなりました。

そして最終日、収穫したお米をみんなで食べてみました。初めて口にする赤米と黒米。「お赤飯みたい！」「思ったよりおいしいね」「ちょっとかたいよ」「あまい味がするね」…自分たちで作ったお米はひと味もふた味も違うようです。



みんなの体験教室

★「糸を紡ぐ」

11月～12月



298人—いったい何の数字でしょう？なんと定員15人の体験教室「糸を紡ぐ」に応募された方の人数なのです。反響の大きさに私たちはうれしさと驚きの入り交じった複雑な心境です。

この教室は、マユを煮て開き、手や紡錘車で紡いで糸にし、その糸で布を織ってみようというものですが、マユから糸をとってみたい、「紡ぐ」ってどんなことをするの？興味はもっていたけどチャンスが無くて…動機は様々ですが、やってみたい！という気持ちはみなさん同じ。講師やスタッフの説明に熱心に耳を傾けながら、驚きと感動をもって自分なりの「糸紡ぎ」体験をされたようです。

また、残念ながら抽選にもれてしまった人を対象に全14日間にわたって、簡単な糸紡ぎの体験（手紡ぎ、紡錘車と糸車による真綿・木綿の糸紡ぎ）ができる場も用意しました。

道具やスタッフなどの関係で、ご応募された方全員のご希望にお応えできないのが現状ですが、できるだけ多くの方に機会を提供していくことを今後の課題にしていきたいと思っております。



●アンケートボックスの中の声●

エントランスホールにアンケートボックスがあるのをご存じですか？ 来館された際のご意見や感想、7つて思われたことを自由に書いていただいています。その中こんな声がありました。

Q：体験博物館でありながら、さわれないモノが多すぎます。本物が無理ならレプリカでもいいからさわれるようにしてもらえませんか。

A：本物に触れることは、それを保存していくという観点からみると、非常に難しい問題です。また、レプリカは本物の持つ迫力に欠けるという点で、やはり問題を残します。

当館では、常設展示ではできるだけ本物を見て

いただき、プレイルームや堅穴住居で触れたり体験していただくと考えています。今のところ縄文時代の布作りや石皿でドングリを粉にしたりする体験などを行っていますが、ご指摘のようにまだまだ触れていただく機会が少ないことは痛感しております。現在、手に取るができる土器片や火を起こす道具などを置くことを検討しております。見るだけでなく、触れてみる、使ってみる、そういった体験を今後とも充実させていきたいと考えています。

今後シリーズでアンケートボックスの中の声を取り上げ、一編に考えていきたいと思っております。お気軽にご意見を聞かせてください。

博物館行事 INFORMATION

●展示 開館5周年記念特別展

「シルクロードとガンダーラ」

3月20日(祝)～5月11日(日)

館蔵資料展「古墳時代のうつわ」

5月24日(土)～7月6日(日)

●講座 古文書を読む(近世入門編)

5月11日・25日、6月8日・15日、7月6日

各日午前10時30分～12時(全5回)

初心者を対象に、近世の松戸市域に関わる文書を丁寧に読み解き、その時代背景を学びます。

●体験教室 縄文時代の布をつくる(全5回)

5月17日・18日・24日・31日、6月7日

縄文時代の布、編布の復元製作。原料のクラムシ(植物)の採集から、繊維取り、糸撚り、編布製作までを体験します。

●講演会・その他

映像で見る歴史と文化

下記の二つを講演で映写します。

①シルクロード 3月20日～5月11日13時15分より

②送り大師—東葛印禰大師講の人々

4月26日・27日14時25分より

館内公開 4月6日10時30分・13時～(各1時間)

もっともっと博物館を知りたい人、普段は見ることのできない博物館の裏側をのぞけます。

⇒上記の行事についてのお問い合わせは

☎047(384)8272 教育普及係までお気軽にどうぞ

★臨時休館のお知らせ

下記の期間、全館休業のため休館致します
平成9年6月23日(月)～6月30日(月)

| 年月 | ハイビジョンタイトル | 上映時間 |
|---------|-------------------------------|------|
| 平成9年4月 | 永遠のマエストロ/イタリア美術紀行 | 41分 |
| 5月 | バリ/神々に捧げられた島 | 30分 |
| 6月 | チベット チャンタン高原をゆく/標高4500m 蒼入の大地 | 44分 |
| 7月 | しげんとあそび/はくちょう | 15分 |
| 8月 | しげんとあそび/さる | 15分 |
| 9月 | 始皇帝/黄泉の国の軍団 兵馬俑 | 29分 |
| 10月 | 始皇帝/黄土高原・果てしなき攻防 | 29分 |
| 11月 | 始皇帝/永遠の命を求めて | 29分 |
| 12月 | 大英博物館/古代エジプトの美 | 60分 |
| 平成10年1月 | シュヴァルツヴァルト 黒い森/冬物語 | 29分 |
| 2月 | しみわたる雪ことば 新潟県南魚沼郡 | 28分 |
| 3月 | 美の回廊をゆく/貴金仏造行 タイ・バンコク・スコタイ | 30分 |

平成9年度のハイビジョン

大変ご好評をいただいている博物館のハイビジョン。今年度もバラエティーに富んだ作品を集めました。迫力ある大画面を毎月お楽しみ下さい。

★場所 博物館講堂

★上映開始時刻

| 平日 | 土・日・祝 |
|----------|----------|
| ① 13時15分 | ① 11時00分 |
| ② 15時15分 | ② 13時15分 |
| | ③ 15時15分 |

※観覧は無料です。
※都合により予定を変更する場合があります。

利用案内

●開館時間

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分迄)

●休館日

月曜日(但し祝日にあたる時はその翌日)

館内整理日(毎月第4金曜日)

年末年始(12月28日～1月6日)

●観覧料

| 区分 | 個人 | 団体 |
|---------|------|------|
| 一般 | 300円 | 240円 |
| 高校生・大学生 | 150円 | 100円 |
| 小学生・中学生 | 100円 | 60円 |

・小学生未満は無料です。
・団体は20人以上。
・第2・4土曜日は小学生は無料です。
・企画展・特別展は別料金をいただくことがあります。

●交通

新京成線八柱駅・JR武蔵野線新八柱駅下車

新京成バス小倉原団地行き

「公園中央口」下車

まつどミュージアム No.5

発行日 1997年(平成9年)3月31日

編集・発行 ◎松戸市立博物館

〒270 千葉県松戸市千駄敷671

☎047-384-8181

■博物館がお休みの日■

□は休館日です。お間違のないよう、ご確認のうえお出かけください。

1997年4月

5月

6月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | | | | 1 | 2 | 3 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 14 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 21 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 28 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | | | | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 29 | 30 | | | | | | |

7月

8月

9月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | | | | 1 | 2 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 13 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 20 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 27 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 28 | 29 | 30 | | | | | |